

# 須坂「三十段飾り千体の雛祭り」



## 高さ6メートル「六文銭」も彩り

〔長野〕須坂市の須坂アートパークで、高さ6メートルのひな段に千体のひな人形が並ぶ恒例の「三十段飾り千体の雛祭り」が開催中だ。パーク内の「世界の民俗人形博物館」「須坂版画美術館」「歴史的建物園」の3カ所を、江戸時代後期〜平成の計約6千体のひな人形が訪れる人々を迎えている。

民俗人形博物館では、同パークが「恋人の聖地」とされることから、ぼんぼりと桜の木の飾りでハートを形取った。版画美術館ではNHK大河ドラマ「真田丸」にちなみ、桜の木と橘の木の飾りで真田家の家紋「六文銭」を表現した写真。ひな人形は過去に一般から寄贈されたもの。

廣田華子学芸員は「各時代のひな人形を見比べて親子3代で楽しんでもらえる。本物のひな人形を間近で見たい」と話す。展示期限は民俗人形博物館が4月17日、版画美術館と歴史的建物園が5月8日。入館料（共通券）は一般500円、中学以下無料。